



# 公明こうべ

2019年  
vol.5

発行：公明党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1  
<http://www.kobe-komei.net>



## 子ども笑顔があふれるまちに

### 第2回定例市会より

教員間の暴行事案など教育委員会の諸課題に関するもののほか、近年頻発している災害への対策、そして公明党がリードして10月から始まった幼児教育・保育の無償化への対応や、高齢者の運転事故防止策など、幅広い議論が行われました。

いよいよ10月より幼保無償化がはじまりました。子育て世帯の負担が更に軽減され、多くの喜びの声が届いています。この無償化により、市が単独で活用できる財源が生まれたことで、更に子育てしやすい環境を整えるよう強く訴えました。

たとえば①給食費の無償化や②多子世帯の保育料の更なる軽減、③学童保育利用料の軽減、④こども医療費助成の拡大⑤保育士さんの処遇の改善、⑥今回対象とならない0歳～2歳児の無償化、

⑦きょうだいと同じ保育所に入所できる仕組み作り等を提案しました。



## 火災被災者の 使用期限延長を

自然災害や火災で家を失った被災者が市営住宅を一時的に使用できる制度について、使用期間が「火災被災者は最長で6か月」、「災害被災者は2年まで延長可能」と差が生じています。火災被災者が住宅を再建する場合、現在の使用期間である6か月を超えることがあるため、個々の状況に応じて柔軟に使用期日を延長すべきと指摘したところ、久元市長から「火災被災者の市営住宅の一時使用期間について検討していく」と前向きな答弁がありました。



## 全小学校に 蓄電池を配備

台風15号による千葉県での停電を踏まえ、本市の避難所に災害用の蓄電池を配備すべきと要望したところ、副市長から「災害時の避難所におけるエネルギーの確保は非常に重要である。緊急避難場所となる市立小学校163校への蓄電池の配備を、9月末に設置を完了した。今後、市立小学校以外の緊急避難場所への蓄電池設置については、前向きに検討したい」と答弁がありました。

市内の小中学校に配備された蓄電池

## 無電柱化の促進を要望

都心部や観光地等景観に配慮すべき地区・路線において無電柱化に取り組んでいます。電柱に比べ10〜20倍の費用がかかりますが、なかなか整備が進んでいません。無電柱化は停電の防止や早期復旧、移動空間の確保や景観にもメリットがあることから促進するよう要望しました。

### 無電柱化

- メリット**
  - 移動空間の確保
  - 景観
  - 停電の防止
  - 早期復旧
- デメリット**
  - コストが10〜20倍(地下埋設)



神戸市内でも台風で大きな被害が



こべっこあそび広場で遊ぶ親子

## 好評! こべっこあそび広場

7月に北区の岡場駅近くに大型遊具を備え、就学前のお子さんを持つ保護者が子供と一緒に気軽に訪れ、天候に関係なく思いっきり遊べる施設ができました。また、子育て情報の発信や子育て相談の機能も備えています。現在、市は東部と西部の利用者の方が訪れやすい身近な場所に設置できるよう調査を行っており、子育て中の親子が孤立感や負担感を抱くことのないように取り組んでいます。

## 扇情と理性 — 児童の気持ちを第一に —

教師の集団による「いじめ」が世間を騒然とさせた。現場の動画がワイドショーに流され、数多くの抗議が教育委員会に議会に殺到した。さらに自宅待機の彼らが、有給休暇扱いであったことでさらに批判を浴び、異例のスピードで条例改正が行われ、給与支払い停止が決まった。

しかし分限懲戒審査会は4人の加害教諭への処分は改正条例に照らし「不相当」と判断し、市長は「完全に条例の解釈を誤っている」と批判。条例改正の難を指摘する新聞社の社説にも反論。

この事態を肝心の児童たちはどう見るだろうか。落ち着いた教育環境を保障するのが大人の務め。評価の高かった教師がなぜとの疑問は調査結果を待たねばならないが、「集団心理」のなせるわざではない

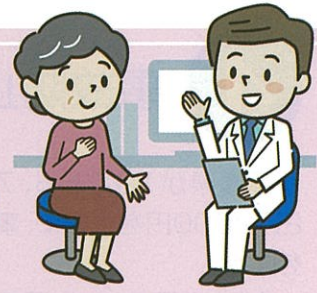
か。しかしまた彼らを強行に処分した背景もマスメディアやSNSで増幅された「集団心理」ではないか。

扇情の前に理性を保つことは極めて難しい。しかしその責任を担うべき我々は子どもたちに何を示すべきか真剣に考え、行動したい。



### ご存知ですか?

## 認知機能検診の 無料受診券を送付(75歳以上)



本年1月より、市内の65歳以上の方に対して認知症の受診を支援する診断助成制度と、認知症の方が事故に遭われた際に救済する事故救済制度を組み合わせた認知症「神戸モデル」を実施しています。

7月より更なる受診勧奨のため、市内の75歳以上の方に、認知機能検診の受診券(無料)を送付しています。

### ■送付時期

4〜6月 生まれの方	令和元年 7月上旬 発送済
7〜9月 "	令和元年10月上旬 "
10〜12月 "	令和2年 1月上旬 発送予定
1〜3月 "	令和2年 3月上旬 "

※既に認知症、MCI(軽度認知障害)と診断されている方、今年度にすでに申し込みをされている方は除きます。

## 1 10月より 新生児聴覚検査費用を助成

新生児の聴覚障害を早期に発見し、早期養育・支援につなげ、こどもの健全な成長・発育を促します。

- 検査は出生後、新生児期の入院中に実施
- 自動ABR検査 5,000円(上限)
- OAE検査 3,000円(上限)



## 2 「こべっこウエルカムプレゼント」 カタログギフトを贈呈

2019年4月2日以降に生まれた子を対象に、**第1子は10,000円分、第2子は15,000円分、第3子は30,000円分相当のカタログギフト**でお祝い!(受付は令和2年1月頃を予定)



## 3 北神急行電鉄 谷上～三宮間が280円に

2020年6月1日から市営地下鉄西神・山手線との一体運行が始まり、**谷上～三宮間の料金はほぼ半額の280円**になる予定。また、谷上と北区の神戸北町にはバス路線を新設する方針が打ち出され、大幅な運賃値下げで利便性が向上し、市北部の活性化が期待されます。



市営化が決まった北神急行電鉄

## 4 事故防止装置の設置補助が開始

兵庫県が10月から、75歳以上の高齢者を対象に、2万2000円を上限に、事故防止装置の設置補助制度を開始。

また、神戸市では、県の補助に加え、**10月23日分より1万1000円上乗せ助成**が始まりました。

補助対象装置は、

- ① アクセルを急激に踏み込んだ場合にセンサーが異常検知し、急加速を抑制する急発進抑制タイプ
- ② 一定範囲内の障害物をセンサー等が検知した場合、アクセルの急激な踏み込みに対し加速を抑制する障害物感知タイプ

### ■事故防止装置の 補助制度



兵庫県(10月～)75歳以上  
**22,000円(上限)**



神戸市(10月23日～)  
**11,000円(上限)**

合計 **33,000円**



## 新たな視点で多様な人材の確保を

常任委員会と特別委員会では補正予算のほか各議案や参考人聴取、そして一般質問など活発な議論が行われました。今後も公明党神戸市会議員団は「小さな声を聴く力」を十分に発揮し、市民福祉向上のため働いてまいります。

### 学童保育の充実を目指す

#### ■ 過密対策を進めよ

幼保無償化にもなつて今後学童保育ニーズの増加が予想されるなかで、学童保育施設の過密対策のため計画的な施設整備が必要と指摘したことを受けて、「令和6年には今よりおよそ2400人増加が見込まれていることから、小学校だけでなく地域の会館や民間ビルなどを確保し対応していきたい」と積極的な答弁がありました。



#### ■ 開所時間を午前8時に

共働きの増加によって土曜日や夏休みなど長期休業日の開所時間を早めてほしいとの声に応えるため、全ての施設で開所時間を朝8時にするよう要望したところ、「令和3年度中には全ての施設で実施できるように取り組んでいく」と前向きな答弁がありました。また、その際には早朝開設に対応するための人材確保の重要性と、相応の助成が必要であることを強く要望しました。



# わ 目覚めると未来都市

近年、技術の進歩が著しい。人口知能(AI)、自動運転、太陽光発電などの再生可能エネルギー、再生医療などの進歩は、私たちの仕事や生活を一変させます。公明党は、市民のご要望解決のため、技術の進歩を踏まえた政策づくりを提案し、議会に「未来都市創造に関する特別委員会」を設けました。

## 交通事故ゼロ、排気ガスゼロ

検討テーマの一つが交通問題。交通安全の市民相談は多く、信号機やカーブミラー、横断歩道のご要望は後を絶ちません。これを解決する新技術は、「自動運転」。人に代わりコンピュータやセンサーが自動車を運行します。居眠り、飲酒運転、スピード違反もなくなり交通事故はゼロになります。自動車はすべて電気自動車になり排気ガスもなくなります。

## 自家用車がなくなり駐車場も不要

自動運転となれば、みなで車をシェアでき自家用車はなくなり、家の駐車場もいらなくなります。そもそも車の95%は動いておらず、車は余っているのです。車も駐車場もいなくなると家計は大いに助かります。移動は自動運転のタクシーかバスなどの公共交通。

## キャッシュレス、チケットレス

カード1枚で鉄道、バス、タクシー、自転車などすべての乗り物を利用できるサービスがすぐ目の前にやってきました。チケットはなくなり改札も不要になり、鉄道のすぐ横に自動運転のバスやタクシーがきてそのまま乗り換えができ、極めて便利でバリアフリー。もちろんキャッシュレス。

## 未来都市の姿

これは夢物語ではありません。欧米でもお隣の韓国でも交通機関は1枚のカードで乗れる仕組みがスタート。神戸でも高齢者の足としてバスを走らせてほしいとのご要望にお応えするため、無人ミニバスの自動運転試験も行っています。人間中心主義の公明党。くらしの安全、安心、便利を追求し未来都市を創造して参ります。



平成30年12月に北区筑紫が丘でミニバスの自動運転試験を実施

## 久元市長へ予算要望 令和2年度予算への反映を約束

令和2年度の予算編成を前にして、公明党神戸市会議員団は、久元市長へ予算要望書を手渡しました。席上、冒頭に教育の充実と格差解消の福祉施策の促進を強く求めた後、336の要望項目の中から①いじめ対策の拡充 ②ガードレール設置による通学路の安全対策 ③学童保育の過密対策や施設への見守りカメラの設置 ④待機児童対策 ⑤防災体制

の一層の整備 ⑥芸術文化の振興策 ⑦広報の充実によるがん対策の推進 ⑧高齢者の社会参画支援策の充実 ⑨ひきこもり支援の拡充 ⑩動物愛護センターの設置などについて市長と意見交換をしました。久元市長は、それぞれの課題の現状と今後の考えを答えた後、「本日の要望を来年度予算に反映できるように検討していく」と応じました。



### 見守りカメラの設置を

こどもの安全を確保するために児童館や学童保育施設の屋内に見守りカメラを設置すべきではないかと指摘したところ、「こどもの十分な見守りのために必要なので検討していく」との方針を示しました。

### 預かり保育の負担を軽く

性化や具体の改善に結びついていない」と訴え、制度の見直しを求めました。教育長は「評議員の入れ替え制や民間事業者も入れる等制度の見直しを行う」と約束しました。

入れ替え

民間業者の目

### 選考基準を公表せよ

教員の資質を見極める教員採用試験に注目が集まる中、全国68都市のうち、配点や選考基準を公表していないのは神戸市教育委員会のみであることに言及。「採用選考の透明性を一層高め、優秀な人材確保の目的で、選考基準を公表すべき」と質しました。教育長は「来年度の採用選考に間に合うよう公表する」と約束しました。



### 幼保実態調査踏まえ質問

公明党が取り組んでいる幼児教育・保育の無償化に関する実態調査から浮かび上がった課題への対応を求めました。

預かり保育の利用料が無償化の上限11300円に収まらない場合もあることから、近隣の西宮市では独自の助成を行っていることに言及。「神戸市独自で助成を行い保護者の負担軽減を図るべき」と求めました。副市長は「今後の利用者の動向を見ながら子育て施策全体の中

で検討していく」と答えました。

また、事業者の「新たな預かり保育の需要に対し現状の部屋や保育人材では応じきれない」との声をふまえ、「保育士確保の観点等から人件費等の運営費用について事業者に補助を行うべき」と質しました。副市長は「事業者の負担軽減のために障がい児に対する運営費補助の新設とあわせて検討する」と約束しました。

### 教員の役割・責任を明確に

校長・教頭と同様に、教員を指導する立場の主幹教諭の校務の進捗や結果を評価する仕組みがないことに言及。その上で「教員の多忙化を解消していくためにも教員一人一人の役割・責任を明確にし、校長、教頭、主幹教諭、一般教

### 学校評議員制度の見直しを

学校が作成する自己評価に対して意見を述べる学校評議員制度について、地域においては評議員が固定化しており、「学校の活

### 成人式は従来通り開催

令和4年4月に改正民法が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられることを受けて、成人式の対象はどうなるのかとの問いに対して、久元市長は「対象は20歳、

開催時期も現行通りが妥当」との方針を明らかにしました。

## 1 しあわせの村に 新たな冒険遊具

北区の「しあわせの村」に新たな冒険遊具「BOUKEN Adventure Park」が11月30日にオープンしました。(有料)

ジップラインやネットウォークなどで木々の間を渡って楽しむ3つのチャレンジコース「ツリートップアドベンチャー」、子どもたちが木の遊具や絵本とふれあいながら楽しめる屋内プレイルーム「キッズルーム」、キッズルーム屋上部分に立てた柱の間を渡って遊ぶアスレチック遊具「ルーフトップアドベンチャー」の3つを設置しました。

●詳しくは公益財団法人こうべ市民福祉振興協会  
電話078-743-8092



## 2 こどものための 図書館

建築家の安藤忠雄氏より建築し寄贈したいというご提案があった「こどものための図書館」の計画概要が発表されました。

場所は神戸市中央区加納町6丁目東遊園地内(南エリア)で、建物は鉄筋コンクリート造り地上3階建てになる予定です。



外観完成予想パース

## 3 おいしい<sup>はちみつ</sup>蜂蜜 「Rikyu Honey」を販売

須磨離宮公園では、3月から養蜂を開始し、離宮公園内で採集した蜂蜜「Rikyu Honey」の販売を園内限定で開始しました。

「Rikyu Honey」は園内のレストラン「GARDEN PARTAGE (ガーデンパタジェ)須磨離宮」のほか、正門、植物園観賞温室2階「Botanical Cafe(ボタニカルカフェ)※土日のみ」で購入できます。

神戸女子大家政学部の協力を得て、「Rikyu Honey」を使用した家庭でも調理しやすい主菜やお菓子など8品の作り方を掲載したレシピカードも作成し、須磨区役所で配布しています。



## 4 がん対策条例の改正 治療と就労の 両立についての啓発活動の推進を!

公明党が主導して制定した、がん対策を総合的に推進するための「神戸市がん対策推進条例」が平成26年4月1日より施行されています。

今回、がん患者の就労に関する啓発活動を始め、日々の生活を送る上で必要となる、「継続就労」、「職場復帰」、「新規就労」などがん患者の就労に関する支援を強化するために同条例を改正(令和2年1月1日施行)しました。



教育費  
負担軽減

保育料  
無償化

所得格差  
縮小

人材育成



図書館  
拡充

防犯カメラ  
街灯増設

人 & 猫  
共生

災害時  
要援護者  
支援

# 「令和2年度予算」で こうなる市民の暮らし

## — 子育て、教育の費用を応援 —

令和2年度予算市会(2月18日~3月27日)では、新型コロナウイルス感染症に緊急対応するとともに、市民の暮らしを守る令和2年度予算を審議し決定しました。

予算の目玉は党をあげて取り組んできた教育費の負担軽減です。昨年10月からの保育料の無償化とともに、次代を支える人材育成と所得格差を縮小することに取り組んでいます。

また、公明党が提案、制定した「災害時の要援護者支援条例」および「人と猫との共生条例」にのっとして、在宅人工呼吸器用非常電源購入助成の新設、新たな動物愛護拠点の整備も決定しました。

さらに市民の要望の強かった防犯カメラ、街灯の増設、図書館の拡充についても久元市長とともに実現をはかりました。

# 文化・スポーツを楽しむ街に

芸術、文化、スポーツは市民の活力、創造力、健康にとって大切な活動。  
生き生きとした人生を過ごせる街・神戸を創るため、  
令和2年度予算で図書館等の整備を進めます。

## 1 図書館、音楽ホールを新設

活字文化を推進してきた公明党。中央区、須磨区、垂水区、西区などで図書館を建て替えて拡充するとともに、音楽や演劇等のためにホールを新たに整備します。

■新しい図書館一覧

区	図書館名	図書館名	蔵書数	開設予定年度
中央区	(仮称)新三宮図書館	雲井通5丁目再整備ビル内	未定	令和8年度頃
須磨区	(仮称)名谷図書館	大丸須磨店4F	約7万冊	令和2年度
垂水区	新垂水図書館	垂水駅東駅前広場の一部	未定	令和5年度頃
西区	新西図書館	西区美賀多1丁目1番1	約30万冊	令和3年度頃

## 2 体育館の移転新設

垂水駅、三宮駅周辺の再整備にあわせ、それぞれ体育館を建設します。



## 3 国際的スポーツイベントを開催

オリンピック、パラリンピックの事前合宿受入れをはじめ、ワールドマスタースターズゲーム2021、神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会の開催準備を行い、ユニバー記念競技場のバリアフリー改修をします。



## 私立高校授業料の 実質無償化

— 給付型奨学金も拡大 —

貧困の連鎖は、十分な教育を受けることを妨げ、社会の活力を失わせるとともに人口減少の原因ともなっています。

そこでとくに教育費が高額になる高校、大学

■私立高校授業料の軽減(兵庫県による上乗せ)

1万2千円上乗せ

国による無償化  
(39万6,000円支給)

10万円上乗せ

5万円上乗せ

国による就学支援(11万8,800円支給)

(年収) 590万円 730万円 910万円

世帯年収	590万円～730万円未満	730万円～910万円未満	590万円未満
補助額	10万円	5万円	※1万2千円

※私立高校の全国平均授業料は39万6,000円だが県内の平均授業料は40万8,000円のため1万2,000円を補助

等の負担を軽減するため、国、県に要望を重ね、令和2年度から私立高校の授業料も実質無償化を実現できることとなりました。

さらに大学等の給付型奨学金(返済の必要ない)の拡大も実現し、さらに充実を求めています。資源なき日本の活力は人材です。今後も教育費の負担ゼロを目指して参ります。

令和2年度  
神戸市予算  
獲得!!

公明党が神戸をもっといい街に!!

# 助かります、子育て費用

少子化と貧困家庭の増加は、経済力の低下  
社会保障制度の破たんをもたらす深刻な課題です。  
親の子育て費用の軽減をはかるため、社会全体で支える施策を打ち出しています。

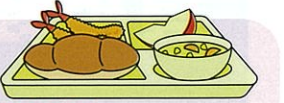
## 1 一人親家庭の高校生 通学定期全額補助

高校の学区が広域になり通学費の負担が大きくなっているため、神戸市独自に、一人親家庭(児童扶養手当受給世帯)に通学定期代の全額を補助します。(令和2年10月から)



## 2 中学校 給食費を半額に

年額約5万7,000円かかっている中学校の給食費を2万8,500円の半額に引き下げます。喫食率をあげるとともに家計の負担軽減を図ります。また温かいメニューやデザート提供回数のアップも図ります。



## 3 0～2歳保育料の 市の追加減免実現

国制度では0～2歳児の保育料無償化は、住民税非課税世帯に限られていましたが、市独自に所得制限なくすべての世帯で第二子半額、第三子以降無償にします。

## 4 一時保育料も減免

3歳未満児の一時保育料も第二子半額、第三子以降全額無償化します。

## 5 保育所等の 副食費の減免

3～5歳児の副食費について所得制限を無くし全世帯で第三子以降無償化します。

	第二子	第三子以降
保育料(0歳～2歳児)	半額	無償
一時保育料(3歳児未満)	半額	無償
副食費(3歳～5歳児)	—	無償(所得制限なし)

※以上3施策は本年9月から実施します。

## 6 病児保育 事業の拡大

公明党の要望で始まった病児保育事業ですが、現在実施している18施設を22施設に増やします。



18施設 → 22施設

## 7 産後ケアの実施個所の 増設と料金の低減

産後の心身休息と、授乳・沐浴などの育児技術を身につけて頂く産後ケア事業を実現しましたが、好評につき、実施個所を8か所から16か所に増やし、利用料金の引き下げ、利用日数の拡大を図りました。

施設個所	8か所	→	16か所
宿泊料金(1泊)	13,200円	→	6,000円
通所(1日)	5,000円	→	2,000円

## 8 保育園定員の拡大、 学童保育施設の増設

保育園の増設により令和2年度で定員約1,000人分を増やします。また、学童保育についても新たに11か所を整備し、土曜、夏休みなどの時、朝8時からの開設を拡大します(令和3年度には全施設実施を目標)。





# 見ちがえる・神戸を創る

— 美しく、便利で、安心なまち —

市内の駅や諸施設が老朽化し時代のニーズに十分応えられなくなっています。都市生活のグレードを向上していくために、主要駅及び周辺のリニューアルを進め、防犯カメラ、街灯の増設による安全対策を進めます。

## 1 三宮ががらっと変わる

中長距離バスのターミナルビル建設が正式に決定。

JR三宮駅南側に2階デッキを新設、そこに地上からあがるエスカレーターを設置など、JR三宮駅ビル、阪急ビルの建て替えとともに、神戸の玄関口が見違える空間に変貌します。



## 2 駅前がおしゃれになる

西神中央駅、伊川谷駅、名谷駅、垂水駅、新長田駅、兵庫駅、神戸駅、新神戸駅、谷上駅などの主要な駅舎、駅周辺において、図書館や体育館、音楽ホールなどを整備したり、植栽やライトアップの工夫なども含め、おしゃれで、便利な駅前に生まれ変わります。



## 3 防犯カメラを市が設置、街灯も増設

自治会に対する防犯カメラの助成制度に加え、直接市が設置します（令和2年度：1000台 令和3年度：1000台の予定）。また、市民からの要望の多い街灯設置についても、現在の数の1.5倍、3万基の街灯設置を進め、「暗がりのない」街を進めて参ります。



## 4 外国人とともに暮らす国際都市

新たな創造力、技術力を求めて海外から人材を獲得することが新たな時代に生きる都市の課題になっています。

神戸において新たに来る外国人の生活支援として、日本語学習サポートセンター（仮称）の設置、区役所における多言語対応通訳ツールの導入、外国人シェアハウス改修補助制度（補助率：1/2 上限50万円）、結核健康診断の補助などを実施します。



## 市民の命とくらしを守れ!

介護、保育、観光、交通など各分野の市民、事業者の声を聞き、感染症による影響に対し以下の緊急要望を行いました。

- ① マスク・消毒液など感染防止の衛生用品の確保
- ② 検査体制の強化と隔離病床の増設
- ③ 固定資産税などの税の支払い猶予
- ④ 運転資金融資の条件緩和と保証料無料に
- ⑤ 休職時の給与補償

など

緊急要望

## 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス専用相談窓口

24時間  
対応

TEL.078-322-6250

感染症帰国者・接触者相談センター  
(発熱、呼吸困難、倦怠感のある方)

24時間  
対応

TEL.078-322-6829